

英語 問題への解答状況から見た生徒の様子

- ・ 子供たちの英語によるやり取りを中心とした授業を展開しましょう。
- ・ 子供たちに基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けましょう。
- ・ 小学校外国語活動との接続を意識した工夫や授業改善を行きましょう。



英語の調査結果全般について 有識者からのコメント（埼玉大学准教授 及川 賢 氏）

「領域」では中2、中3とも「聞くこと」が他の領域よりも高い値を示しており、概ね満足できる達成状況となっている。一方、「書くこと」の値は中2、中3ともに低めの値を示しているが、これは全国でも同様の状況である。むしろ、まとまった英文を書く問題では、2年生が87.1%、3年生が62.3%の正答率を得ており、決して低くはない。この要因として県立高校の入試でまとまりのある英文を書く問題が長年出題されている点、また、先生方がしっかりご指導をされている点が挙げられるであろう。

その他、気づいた点として、「正しく文を組み立てることができる」問題の正答率が低いが、これは、いわゆる並べ替え問題である。語順が伝達に大きな役割を果たす英語において、この並べ替え問題を指導に取り入れることは、有効に働くであろう。

